



2015 January

No.510

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います



平成27年1月5日 8:00撮影

新年おめでとうございます。

昨年4月1日、独立行政法人地域医療機能推進機構(Japan Community Health care Organization; JCHO)人吉医療センターとして新たに出発しました。みなさまのおかげで大きなトラブルもなくスムーズに新機構へと移行ができました。地域のみなさま、医療機関・行政のみなさまに厚く御礼申し上げます。

今年は、JCHO 2年目となりますので羊質虎皮とならないよう、しっかり地に足をつけて地域医療の要となるよう頑張りたいと思います。特に「医療介護総合確保推進法」にある病床(棟)機能の届け出制、それに基づく地域医療構想とその調整、在宅医療など地域医療連携をさらに強化して対応していきたいと考えます。院内では、放射線治療装置、シンチグラム、CT、電子カルテの更新、人吉球磨地域や熊本大学との ICT

の開始、病院機能評価受審などが控えています。そして11月20、21日には第14回医療マネジメント学会九州山口連合大会を人吉市カルチャーパレス・スポーツパレスで開催します。現在、病院を挙げて鋭意準備を進めているところですが、地方小都市での開催で困難もありますがみなさまのご協力を得て実りある会議にしたいと思います。

2025年に向けて我が国の医療制度が変革するため病院の方向性も多岐にわたりますが、地域における当院の立ち位置を認識し振れることなく役割を粛々と果たしていきたいと思っています。

最後に皆様方にとって今年がよい年であることを祈念申し上げます。

2015年

JCHO 人吉医療センター 院長 木村正美

新年の挨拶



地域の皆様並びに人吉医療センターで働いて頂いているスタッフの皆様、新年あけましておめでとうございます。今年も昨年同様、ご指導の程、宜しくお願い致します。

今年は、当センターにおいて大きな行事が2つあります。

1つは、平成12年に取得し3回目の更新を8月に迎える病院機能評価であります。病院機能評価とは、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が適切に実施されているかを評価する仕組みです。昨年8月より谷口総務課係長を中心としたメンバーが取得に向け現状を分析し、評価項目においての課題に対し、改善に取り組んでいます。このことにより、当センターの医療の質がさらに向上することを期待したいと思います。

そして、11月20日～21日に当センターが担当病院として開催する「日本医療マネジメント学会第14回九州・山口連合大会」です。この大会は参加人数

が1,000名を超える学会であり、県庁所在地以外で初めて地方で開催されることになっています。特別講演をはじめ、市民公開講座、教育講演、パネルディスカッションなど、JCHO尾身理事長、日本医師会会長など重宝著名な先生方に講演して頂けることになっています。この紙面をお借りしまして、皆様方のご参加を切にお願いしたいと思います。

昨年暮れには、衆議院総選挙が行われ、自民・公明による連立政権が信任されましたが医療界を取り巻く環境は依然として厳しく、経営を圧迫する要因はどこにでも潜んでいるのではないのでしょうか。地方創生の枠組みの中で、医療基盤の確立を期待するとともに、自らも地域に根ざした病院として地域の皆様に、安心・安全な医療を継続的に提供できるように頑張っていきたいと考えます。

今年1年が皆様にとって良い年になりますよう、心から祈念いたします。

事務部長 作元 功



あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと存じます。

昨年は、新機構移行の大事な年でした。特に私個人は新しい環境でのスタートで、疑問点ばかりの毎日でした。

新機構になり、まず変わったところは看護部の4週160時間の勤務期間管理です。看護部は変則勤務ですから、本部の推奨する勤務時間管理に準じた勤務表を作成するのに各師長は苦勞しているところです。それから緩和ケア病棟の増床や亜急性病棟から一般病棟への変更などがありました。

看護職は日々、患者・家族に目を向け、看護の質

向上に努力しています。しかし、これからは疾病や障害があっても住み慣れた地域で自立した生活ができるように、看護職自身が医療と生活の両方を視野に入れ、今以上に多職種と協力していかななくてはなりません。まだまだ課題はたくさんありますが、多職種とのより良い連携を活かして全職員で取り組んでいけるのではないかと思います。また、看護役割が期待される中、看護職が生き生きと働き続けられる職場づくりを更に前進させたいとも思っています。

微力ではありますが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

看護部長 井手 美智子

日本医療マネジメント学会 第14回九州・山口連合大会

「次代につなぐコミュニティヘルスケア ～今、われわれは地域のために何をすべきか～」

会 期：2015年11月20日（金）・21日（土）
 会 場：人吉市カルチャーパレス・人吉スポーツパレス
 会 長：木村 正美（JCHO 人吉医療センター 院長）
 演 題 募 集：2015年4月1日（水）～7月31日（金）
 問い合わせ：JCHO 人吉医療センター 総務企画課
 (Tel：0966-22-2191)
 学 会 H P：http://jhm14kyusyu.umin.jp/（随時更新）



当院における口腔ケアチーム立ち上げとその活動状況

当科では、以前より歯科外来受診困難な患者さんなどを対象として、院内の各科病棟への往診業務を実施してきました。しかし、組織的な実践の必要性を実感し、病院全体としてのシステム化を働きかけ、平成 25 年 8 月から、「口腔ケアチーム」を立ち上げました。

チームの運用を開始してみますと、ICU に収容されている急性期の患者さんから、緩和ケア病棟に入棟されている患者さんまで、多岐に渡る口腔ケアの要望がありました。

運用の実際は、毎水曜日に、当科スタッフがワゴン車に口腔ケアに必要な各種の備品を搭載して、各病室をお訪ねします。

ベッドサイドにて、口腔内診査を行い、各個人に適切な口腔ケアを実施します。この際、至急に精査や治療を要する所見が認められた患者さんにつきましては、歯科口腔外科外来受診を受診して頂き、処置等実施します。

病棟での口腔ケアの意義は、口腔粘膜の痛みや出血への

対処、より専門的な口腔ケア、食思改善へのサポートなどであり、ます。原疾患の病態や ADL によって介入の方法も多様性を要し、個別性のある口腔ケアが必要であると思われました。

病棟へラウンドする機会が増えますと、改めて入院患者に対する口腔ケアの必要性を実感しております。各病棟ごとに求められる口腔ケアには特徴があるようです。歯科がどのように介入できるかをさらに検討を重ね、チーム運営に反映したいと考えております。

今後も院内の多職種と連携を図って、より充実した口腔ケアの構築に努めて参ります。

歯科口腔外科センター 石神 哲郎



人吉市立第二中学校

薬物乱用防止講演会

平成 26 年 12 月 2 日（火） 人吉市立第二中学校において当院副院長 下川恭弘医師による薬物乱用防止教室が開催されました。受講された生徒さんの感想を掲載させていただきます。

薬物乱用防止講演会の講話を聞きました。講話では、タバコ、薬物乱用、飲酒について話を聞きました。薬物乱用では、一度使ってしまうと、またしたいという気持ちがとめられなくなる依存症や脳が萎縮してしまったり命にかかわったりすることがわかりました。健康だけではなく、精神的にもダメージをうけることもわかりました。

タバコと飲酒では、タバコや飲酒をたくさんしてしまうと、病気にかかりやすくなることがわかりました。病気の中でもとくにがんにかかりやすくなり、最後は死んでしまうかもしれないことがとてもおそろしいなと思いました。

私たちのために、薬物乱用防止の講演をしていただきありがとうございました。覚せい剤や麻薬などはいけなものというのはわかってはいたけれど、身体や心、脳にそれほどまで影響を与えることは知りませんでした。薬物をやると本当に身体や心が壊れていってしまうんだなと思い、改めて薬物の怖さを知ることができました。

また、自分たちの身近にあり、法律では禁止されていないタバコでも依存症になったり、肺がんになってしまうなんてこわいなと思いました。私の家族にもタバコを吸う人がいるので、体のことを考えてもらいたいし、自分は吸わ

タバコは自分が吸っていて、自分にだけに害がでると思っていましたが、その吸っている人の周りにいる人たちも煙を吸って、害がでることがわかりました。タバコを吸っていると、肺がんにかかってしまうリスクがとて高くなるということがわかったので、自分ががんにならないためにも、大人になったとき、タバコや飲酒はひかえるようにして、健康に生活をしていきたいです。

人吉市立第二中学校 3 年 久保 穂香

なくても、副流煙を吸ってしまわないようにしたいです。また肺がんになってしまう可能性もあるので、私はタバコを吸わないようにしたいと思いました。大人になったら、お酒を飲むこともあると思うけど、その時は飲み方に気をつけて急性アルコール中毒にならないように工夫したいです。お酒などはほどほどにして、バランスの良い食生活やほどよい運動、休息を大切にしたいです。

講演をしてくださって本当にありがとうございました。

人吉市立第二中学校 2 年 潮田 萌花



がん医療ネットワークナビゲーター制度について

昨年12月7日、当院から大竹副院長を含め3名が「がん医療ネットワークナビゲーター教育研修セミナー」を受講しました。

平成25年、日本癌治療学会は日本のがん医療の発展と進歩を促進し、国民の福祉に貢献することを目的として「がん医療ネットワークナビゲーター」の認定制度を創設しました。平成26年は熊本・福岡・群馬の3県でモデル事業に着手し、今年は実施研修をおこない、平成28年の春には第1期生が誕生します。モデル事業であるため、全国において継続性があるかは、3県の動向をみて可否決定されます。目標として全国で2万人の認定を目指している認定制度です。

この制度が創設された目的は、だれもが安心、満足できる理想のがん医療の一層の充実です。患者や家族等が抱える問題として、医療情報の不足、高額医療費の支払いへの不安、精神的な寄り添いの不足などが挙げられますが、そのような方々を支える人材がいなのが現状です。ナビゲーターの役割は、がん医療を受けるために必要な情報や生活に関する適切な助言・提案・支援になり

ます。そのため医療実務には係わりません。また、医療者資格を要せず、がんサロンや患者会に関わっている人、さらに患者さん自身も有資格者になります。セミナーやeラーニングシステムなどで所定の科目を修め、認定研修施設での実地研修を受けることなどを認定の条件としています。熊本がモデル事業に選ばれたのは、がん患者さんと医療機関の間で診療情報を共有する地域連携パス『私のカルテ』を整備するなど、がん診療連携が進んでいることが高く評価されました。

詳しくは下記（日本癌治療学会のホームページ内）をご参照ください

化学療法室

がん化学療法看護認定看護師 矢立 雅章

参照：日本癌治療学会

がん医療ネットワークナビゲーター制度

<http://www.jsco.or.jp/jpn/index/page/id/868>



～ブルーリボンキャンペーン～

もっと知ってほしい「大腸がん」のこと 2015 in 人吉 開催のお知らせ

大腸がん疾患啓発活動「ブルーリボンキャンペーン」では、大腸がんの診断・検査から、また外科的治療・薬物療法について広く一般の皆様にご覧いただくことを目的としています。

2月8日（日） 熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器外科学 馬場秀夫先生、済生会熊本病院 腫瘍・糖尿病センター 境健爾先生が、当院にて大腸がんセミナーを開催されます。皆様のご参加をお待ちしております！

開催日：平成27年2月8日（日）

時間：13:00～15:00（開場12:30）

場所：JCHO 人吉医療センター 3F 講堂 どうあん

定員：200名 参加費：無料

申込み方法：下記①～④いずれかにてお申込み下さい（当日のご参加も可能です）

お申し込みの前に、イベントポリシーを必ずお読みください（<http://www.cancernet.jp/eventpolicy>）

①インターネット（<http://www.cancernet.jp/15899>）

※②外来時、必要事項をご記入頂いた用紙を各科スタッフへお渡しください。

※③FAX（FAX受信が可能な方のみ）

※④はがき送付

※②～④の場合、「2月8日セミナー申込み」と明記の上、必要事項1～3を記入して下記申込先まで。

1. 氏名（フリガナ） / 2. 立場（患者・家族・医師・行政関係・医療者・ヘルスケア関連企業・メディアなど） / 3. 連絡先（メール・ファックス・電話のいずれか）

申込・問い合わせ先：〒868-8555 熊本県人吉市老神町35番地 JCHO 人吉医療センター 総務企画課
(Tel:0966-22-2191 / Fax: 0966-24-2116)

BLUE RIBBON CARAVAN ～大腸がん撲滅を目指して～

もっと知ってほしい
大腸がんのこと 2015 in 人吉

開催日：2月8日（日）
時間：13:00～15:00（開場12:30）
場所：JCHO 人吉医療センター 講堂 どうあん
〒868-8555 熊本県人吉市老神町35番地

参加費 無料

主催：JCHO 人吉医療センター
後援：熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器外科学、済生会熊本病院 腫瘍・糖尿病センター

お問い合わせ：JCHO 人吉医療センター
〒868-8555 熊本県人吉市老神町35番地
TEL: 0966-22-2191
FAX: 0966-24-2116
Eメール: manji@jcho.or.jp

**川口 伊津子**

還暦 出逢えた全ての方に人生の宝物を頂き「感謝 感謝」です。「未」年まだ5回目再出発です。

**橋詰 和子**

還暦、ゆっくり人生を歩きます。

**山下 ルミ**

今年も「HK48」=働く小言ババア 48歳! がんばります。

**岩崎 ユリ**

パラダイムシフト! 亀の歩みでも進化!

**告吉 ゆかり**

一期一会を大切に今年一年頑張ります。

**藤田 恵子**

良い方に転がる一年でありますように。

**秋永 信代**

今年一年健康で楽しく暮らせますように。

**浦川 寿子**

今年こそはダイエットに頑張ります。

**中村 洋司**

子供とできる趣味をつくる!

**黒木 美佐**

周囲の人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、人と人との繋がりを大事にしながら頑張っていこうと思います。

**山口 幸恵**

明るく、楽しく、元気良く、がんばります。

**村山 純一**

健康第一で元気に頑張ります!

**岡村 香由美**

健康第一で今年も頑張ります。

**前田 竜一郎**

今年もますます「おっさん化」に拍車を掛けてまいります!

**濱津 育宏**

末年のおひつじ座生まれでいつも羊のようにおとなしい浜津です。早いもので3回目の年男となります。今年もいつもと同じ様におとなしく生きていきたいものです。あとは、昨年我が家も完成したことだし仕事とお嫁さん探しはメエいっぱい頑張ります。

**東 佑美**

良い一年になるように、頑張ります。

**松田 ゆき**

たくさん笑って、仕事と家庭の両立を頑張ります。

**片山 修浩**

末年です。羊のようにメエいっぱい頑張ります。

**田代 一美**

心に余裕のある“余裕美人”を目指します!!

**平古場 ひとみ**

毎日明るく元気にマイペースで頑張ります。

**溝口 奈緒**

感謝の気持ちを忘れず、何事にも前向きに頑張ります!

**吉本 ひとみ**

元気で頑張ります。

**中津 由香里**

仕事も家庭もマイペースで頑張ります

**尾方 希久子**

健康第一でがんばります

**財部 しのぶ**

一日一笑 楽しく、穏やかな一年にしたいと思います。

**木下 浩一**

健康第一で元気に頑張ります!

**岡田 拓巳**

新しいステージへ。そろそろ羊の皮を脱いで頑張ります。

**黒藤 裕子**

今年もマイペースに頑張ります。

**武藤 和彦**

お酒を飲みすぎないように気をつけて今年も頑張ります。

**志水 祐太**

健康第一で元気に頑張ります!

**正木 優樹**

今年は認定資格取得にむけてより一層努力したいと思います。

**中渡 春香**

これからも日々努力して元気にがんばります。

**前原 由紀**

メエいっぱい色々頑張ります。

**松村 綾祐**

夢ふくらム 2015

**田山 志穂**

今年も一生懸命メエ頑張ります^^ (笑) 女子力も磨きあげます!!!

**中村 ひとみ**

細胞検査士目指して頑張ります。

**宮田 梨佳**

一生懸命仕事を頑張ります。

**高橋 琴乃**

今年も一生懸命頑張ります!

**園田 くるみ**

メエいっぱい仕事頑張ります。

**右田 愛祐美**

笑顔を忘れず、一生懸命がんばります!

**田山 あかり**

一生懸命仕事を頑張ります。

**遠坂 彩香**

成長できるよう一生懸命がんばります。

**溝口 真依**

超音波検査で役に立てるように頑張ります。

次回も第四木曜日に本館二階図書室で開催致します。ご自由にご参加下さい。
投稿のみの参加もできます。院内設置の投稿箱にご投稿下さい。

- 声だけはまだでかいから句会好き 比呂志
● 八十路坂五体に気合い入れている 比呂志
● 店の人忙しすぎて笑顔なし 佐津子
● 杖ついてゆっくり渡る里の橋 佐津子
● 当ったぞ年末七億又夢か 健三郎
● 年賀状五枚書いたらあきがきた レイ
● 窓ふきを終わって眺め疲れ飛ぶ レイ
● のせられておせちの広告ついたのむ 智子
● 子供達年末年始待ち望む 智子
● よりそって老夫は妻に手をそえる カヅ子
● 供え餅力ラスの分も準備する カヅ子
● また一つ歳を捨てさり若がえろ 緋紗
● 待つてますタラバとかずの子クール便 緋紗
● 猫の手を借りてみたけど役立たず 圭子
● 目覚めたら昨夜の秀句はどこいった 圭子
● 病院はとっても大事ありがとう S・S
● 夜ふかしはダメよダメダメ孫起きる 保義
● マッサンとエリーのお酒をのみたいな 保義

平成二十六年十二月開催分の句をご紹介します。
どうぞご鑑賞下さい。

笑って健康促進！ 第108回 翔句会開催！

川柳句会「翔」平成二十六年十二月分

栄養豊かなおせち料理

新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

「おせち料理」の起源は古く弥生時代といわれていますが、現在の形になったのは江戸時代からで、日本の伝統料理として日本人の正月は「おせち料理」から始まり、一年に一家の健康と繁栄を願うという意味が込められているそうです。野菜や海藻、いも、豆類など栄養バランスに長けており、日本食の見本となっています。

黒豆のイソフラボンは大豆の2倍含まれ、女性ホルモン低下に関わる症状予防に繋がります。ごまめはカルシウム等のミネラルやビタミンDが豊富。かまぼこは塩分を含みますがエビと同様良質な蛋白質であることに加え、低脂肪なことも特徴。栗きんとんやレンコンはビタミンCや食物繊維が豊富。等々…。但し、おせち料理は「保存」を目的としているため、濃い目の味付けにしていますので食べ過ぎに注意します。

当院の給食も毎年元旦におせち料理を提供しています。朝食は雑煮や祝肴、昼食は赤飯を始め、伊達巻や紅白かまぼこ・えび・ブリの照り焼き・たたきごぼう等を折に詰め祝肴を添え新年を祝います。

今年は初めての試みとして、きざみ食の方に「やわらかおせち」を提供しました。きざみ食はボロボロになり形が見えず、何か分からない。

また、箸でつかみにくく、歯に詰まる等の欠点があります。硬いかまぼこも歯茎だけで噛め、素材の味そのものの、見た目もそのものの「やわらかおせち」は好評でした。今年も患者様に楽しくおいしい食事を心がけ、栄養管理室一丸となり取り組んでいきたいと思ひます。



栄養管理室 室長 大岩 洋子

門松設置

去る12月20・21日 元施設課職員の中村末太郎さん(72歳)による、門松造り・設置が行われました。毎年恒例の門松造りも今年で10回目を数え、一昨年より昨年、昨年より今年と出来が良くなるだけでなく年々大きさを増し、今年は3mを超える立派な門松になりました。門松造りは、施設課山口さんをはじめいつものメンバーと、昨年はコロッケを差し入れただけで手伝わすにすぐに帰った総務企画課のK係長、歯が痛くなったから歯医者に行く途中で帰った医事課Tさん、今年初参加の小児科 岡田先生も加わりました。



昼食には猪肉のBBQと煮込みだけでなく『秘密のケンミンSHOW』にも登場した骨かじりが振舞われ、和気あいあいとした寒い一日でした。来年参加したい方は是非どうぞ。

臨床工学技士 宮原 俊介

新 任 紹 介



いまきき しゅうこ
今崎 秀香(薬剤科・医療クラーク)

最終卒業校：熊本高等専門学校

モットー：感謝の気持ちを忘れない

自分の性格：チャレンジ精神旺盛

自分のコマーシャル：常に学ぶ姿勢を忘れず、いち早く一人前になれるように頑張っています。



わだ しおり
和田 菜(内視鏡室・医療クラーク)

最終卒業校：人吉高等学校

趣味：バレーボール

長所：人見知りをせず誰とでも話せる

自分のコマーシャル：常に笑顔、そして元気よさを活かし、一生懸命頑張りたいと思ひます。

1月の勉強会報告

1月8日(木) 第79回消化器カンファレンス

「胆嚢穿通で救急外来を受診した2例」

熊本大学医学部附属病院 臨床研修医 前田 和也先生

「当院における最近の内視鏡関連診療状況～早期胃癌、ピロリ菌除菌療法および大腸ポリープを中心に～」

人吉医療センター 消化器内科 部長 大谷 響先生

1月30日(金)人吉市・球磨郡学術講演会

「腎臓のtranslational researchと内分泌シグナル研究」

熊本大学大学院生命科学研究部 腎臓内科学分野 教授 向山 政志先生

1月のフレッシュマンセミナー報告

- 1/8 一松 香 「鍋ヶ滝について」
- 1/15 和泉 利栄子 「道の駅について」
- 1/22 内布 美菜 「ブーさんについて」
- 1/29 遠坂 彩香 「バレンタインデーについて」